

# 第1日 過ぎゆくもの～色と音が遊ぶとき

〈旅〉をテーマに様々な国と時代の歌を

11月28日(土) 14:00～15:30 (開場13:30) 休憩なし

銅版画家 山本容子(お話) 波多野睦美(メゾ・ソプラノ) 河野紘子(ピアノ)

## ●プログラム●

星めぐりの歌	作詩・作曲:宮沢賢治
月の沙漠	作詩:加藤まさを 作曲:佐々木すぐる
汽車のけむり	作詩:木下夕爾 作曲:小倉朗
この道	作詩:北原白秋 作曲:山田耕筰
すみれ	作詩:ゲーテ 作曲:モーツァルト
菩提樹	作詩:ヴィルヘルム・ミュラー 作曲:シューベルト
シルヴィアに	作詩:シェイクスピア 作曲:シューベルト
ムーンリヴァー	作詩:ジョニー・マーサー 作曲:マンシーニ
愛の小径	作詩:ジャン・アヌイ 作曲:プーランク
G線上のアリア	作曲:バッハ ほか

# 第2日 東京風物詩 歌で綴る東京

11月29日(日) 14:00～15:30 (開場13:30) 休憩なし

川口京子(うた) 長谷川美佐子(ピアノ)

## ●プログラム●

お江戸日本橋	日本民謡
露地の細路	作詩:海野厚 作曲:中山晋平
お山の大将	作詩:西條八十 作曲:本居長世
茶目子の一日	作詩・作曲:佐々紅華
東京行進曲	作詩:西條八十 作曲:中山晋平
夢淡き東京	作詩:サトウハチロー 作曲:古関裕而
東京の屋根の下	作詩:佐伯孝夫 作曲:服部良一
東京音頭	作詩:西條八十 作曲:中山晋平 ほか

※諸事情により、出演者・曲目等が変更になる場合がございます。

料金: 全席自由 各日 3,000円 (定員100名)

入場券取り扱い: 東京コンサーツ

03-3226-9755 (平日 10:00～18:00)

<http://www.tokyo-concerts.co.jp>

(HPにて予約、セブン・イレブンにて支払・受取ができます)

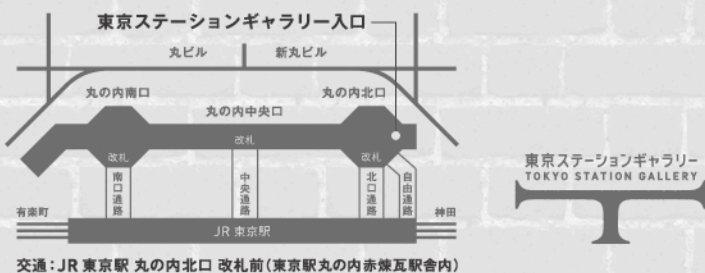
チケット発売日  
9月25日(金)

## 会場のご案内

東京ステーションギャラリー

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1

JR東京駅 丸の内北口改札前(東京駅丸の内駅舎内)



銅版画家 山本容子(お話)

1952年生まれ。京都市立芸術大学西洋画専攻科修了。都会的で軽快洒脱な色彩で、独自の銅版画の世界を確立。絵画に音楽や詩を融合させるジャンルを超えたコラボレーションを展開。多くの書籍の装幀、挿画をてがける。『過ぎゆくもの』(マガジンハウス)をテーマとしたさいたま市・鉄道博物館のステンドグラス、東京メトロ副都心線新宿三丁目駅のステンドグラスとモザイク壁画を制作。現在、新たなライフワークのひとつとして「ホスピタル・アート」、医療現場における壁画制作にも活動の場を広げている。『Art in Hospital スウェーデンを旅して』(講談社)、『山本容子のアーティスト図鑑100と19のポートレート』(文藝春秋)著書多数。公式HP: 山本容子美術館LUCAS MUSEUM <http://www.lucasmuseum.net>



波多野睦美(メゾ・ソプラノ)

英国ロンドンのトリニティ音楽大学声楽専攻科修了。シェイクスピア時代のイギリスのリュートソングでデビュー後、パッサ《マタイ受難曲》等の宗教作品、オラトリオのソリストを含め、様々なバロックオーケストラと共演し、国内外で多くのコンサート、音楽祭に出演。現代音楽の分野やオペラ出演でも深い表現力と存在感で注目される。王子ホールでの「歌曲の変容シリーズ」、朝11時から「朝のコンサートシリーズ」等独自の企画も続け、広く聴衆の支持を得る。現在、音楽言論誌『アルテス』にエッセイ「うたうからだ」を連載するほか、朗読、ナレーションの分野にも活動を広げている。最新作は古楽器との共演による「イタリア歌曲集」2015年夏にリリース。オフィシャルウェブサイト <http://hatanomutsumi.com/>



河野紘子(ピアノ)

桐朋学園大学を経て、同大学研究科修了。ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学のサマーアカデミーに参加、ディプロマを取得。ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭2010に出演。第3回庄内国際ギターフェスティバルに公式伴奏者として参加。ソロだけではなく、アンサンブルにも定評があり、共演者からの信頼も厚い。また「のだめカンタービレ」等のドラマ、映画で演奏指導、吹き替えを担当し、「のだめオーケストラLIVE!!」CDには演奏曲が収録されるなど、多方面で活躍中。これまでに桐朋学園大学声楽科の嘱託演奏員、二期会オペラ研修所ピアニストとして勤務。オフィシャルウェブサイト <http://www.hirokokohno.com>



川口京子(うた)

早稲田大学第二文学部中退。これまでに「北原白秋」「野口雨情」「西條八十」「日本の唱歌」「戦後のこどものうた」「昭和歌謡」「日本の自然」といったテーマでソロコンサートを行う他、小島美子氏や阪田寛夫氏とのレクチャーコンサートなどに出演。日本歌曲、童謡、唱歌、抒情歌、民謡、子守唄、昔の流行歌、等レパートリーは多岐にわたり、言葉と情景が伝わる歌手として、全国に多くのファンを持つ。1999年度日本童謡賞特別賞受賞。シングルCD「大人と子どものセレナーデ」。ソロアルバム「母の歌」「月」「さくら」「この子の可愛さ」「碧瑠璃の空に」「逢いたい」「帰去来」など。オフィシャルウェブサイト <http://www.kawaguchi-kyoko.com>



長谷川美佐子(ピアノ)

国立音楽大学ピアノ科卒業。クラシック、ポップス、タンゴ、童謡・唱歌、子守唄、民謡などマルチプレーヤーとして、ソロ活動のほか様々なジャンルの演奏家と、演奏およびアレンジメントとして共演、全国で演奏活動をしている。シリーズ「歌い継ごう日本の歌」、「ファミリーコンサート“わ”」等を企画開催。第43回日本童謡賞特別賞受賞。ソロCD: LaVita(Kクリエイト)、参加CD: 大人と子どものセレナーデ(コロムビア)、夢路より、世界のこもりうた、チェロとピアノで奏でる日本の四季～唱歌編(opus55)、逢いたい(Kクリエイト)、母の歌、月、さくら(コロムビア)、赤とんぼ三木露風童謡詩集ほか。オフィシャルウェブサイト <http://www.k-create.info/fusako/>